

年度 2008 学期 後	曜日・校時 (月)1 (火)1、2	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	中国語Ⅱ (ChineseⅡ)				
対象年次	一年次	講義形態	演習	教室	
対象学生(クラス等)	月1:E8、火1:Le・f、火2:E5	科目分類	外国語科目(ChineseⅡ)		
担当教員:	趙 紅林	/研究室:	非常勤講師控え室	/TEL:	
/オフィスアワー:	月曜日12:00-13:00	木曜日	9:30-10:30		
担当教員(オムニバス科目等)					
授業のねらい:	中国語の発音を身に付け、中国語会話ができるような基礎力を養う。				
授業方法:	単語の発音練習、本文、文法の説明、文の作り、「訳」、「聞く」、「読む」、「話す」、「書く」、「暗誦する」などの練習をする。				
授業到達目標:	中国語の音を正確に聞き分け、正しく発音できるようにすること、中国語の音声表記をマスターすること、最も基本となる構文をみにつけること、日常的な会話表現ができるようになることである。				
授業内容(概要)	<p>内容: 前期習ったものを復習しながら、新しい単語、言葉、文法事項などを勉強し、もっと多く日常的な会話表現をマスターする。授業中に触れる中国の現代社会事情、風俗習慣などを随時紹介する。(授業中に教える教科書以外の単語なども内容の一部になるので筆記用具を用意すること)</p> <p>第1回 前期の第6課までの復習などと第7かの単語 第2回 第7課の本文読み練習と文法の説明(動作進行中の言い方、“快～了、想～、打算～”と助数詞) 第3回 本文の訳、会話の練習などと第8課の単語 第4回 第8課の本文読み練習と文法の説明(時間の長さ、動作の時点、動作の継続時間、“得”を用いる状態補語) 第5回 本文の訳、会話の練習などと第9課の単語 第6回 第9課の本文読み練習と文法の説明(助詞“了”、助動詞“会、能、可以”、中国のお金) 第7回 本文の訳、会話の練習などと次のまとめ内容の説明 第8回 6～9課までのまとめテスト(あるいは個人発表) 第9回 第10課の単語、本文読み練習と文法の説明(過去の経験を表す“过”と“听说”、“喜欢”、“对……感兴趣”) 第10回 本文の訳、会話の練習などと第11課の単語 第11回 第11課の本文読み練習と文法の説明(存在を表す“有”、前置詞の“离”と“从”、“到”) 第12回 本文の訳、会話の練習などと第12課の単語 第13回 第12課の本文読み練習と文法の説明(比較を表す前置詞“比”、“是……的”の構文、など) 第14回 本文の訳、会話の練習などと次のまとめ内容の説明 第15回 6～12課のまとめ(筆記テストあるいは発表)</p>				
キーワード	会話 文法 練習問題 中国事情				
教科書・教材・参考書	<p>テキスト: 『簡明基礎中国語』 高山 乾忠 著 (白帝社)</p> <p>中国語辞書あるいは中国語電子辞書 (出版社指定なし)</p>				
成績評価の方法・基準等	授業参加、授業時の姿勢、勉強の態度10%、期間小テスト、個人発表など40%、最後のまとめ筆記テストあるいは発表50%。				
受講要件(履修条件)	出席重視、教科書、筆記用具、辞書必携で真面目に受講すること				
本科目の位置づけ/学習・教育目標					
備考(準備学習等)	予習、復習が必要、授業時積極的に質問に答え、練習すること 習った単語を覚え、宿題を完成すること。				